

## 東北の夏の海において事故多発

東北6県において、今年7月11日から8月4日までに、遊泳事故が立続けに11人発生し、うち5割以上の6人が児童で、15歳男児が河口付近で遊泳中に行方不明となる痛ましい事故が発生し、5人が不開設海水浴場や磯場で発生

<今夏の遊泳中の海難事例>

- 7月11日 福島県薄磯海水浴場（コロナ不開設）で11歳及び15歳男性が遊泳中に岩場に孤立、救助
- 7月22日 秋田県入道埼赤島付近海岸で29歳男性が遊泳中に溺水で死亡
- 7月30日 宮城県深沼海水浴場（コロナ不開設）で10歳男性が遊泳中に漂流、救助
- 7月31日 青森県平内町の海岸で4歳男性が浮き具に乗り漂流、救助
- 8月1日 福島県江名の海岸で28歳男性が遊泳中に行方不明
- 8月2日 青森県六ヶ所村高瀬川河口で15歳男性が遊泳中に死亡
- 8月3日 岩手県浦の浜海水浴場で9歳女性が浮き具で漂流、37歳男性、男性が救助中に溺水、救助
- 8月4日 山形県小浪渡海水浴場で42歳男性が遊泳中に溺水で死亡

この夏は若年層の死亡事故がすでに1件発生しており、事故防止の必要性が高い状況

**（原因分析） 若年層の事故の原因としては、保護者に海の危険性が伝わっていないことが大きな要因として考えられる**

**（協力依頼） 宮城海上保安部から宮城県教育庁・教育委員会を通じて、学校からの保護者に対する安全啓発**

海上保安部から教育委員会を通じて、学校から保護者へのメール情報伝達網を活用した遊泳中の事故防止について呼掛けを行い、若年層の事故を未然に防止していきたい。

⇒教育委員会、学校や教諭までの連絡体制を構築し、若年層の事故防止に繋がりたい

**（注意喚起内容）** 東北地方では、7月11日から8月4日までに児童6人の遊泳事故が発生し、うち1人が行方不明となっており、過去10年間で最多ペースとなります。今夏は、海水浴場以外の海での事故が多発していることから、遊泳する際は、監視員が常にいる管理された海水浴場を利用してください。また、保護者が児童から一瞬目を離した際に溺れたり、流されたりしていることから、児童から目を離さず、児童の行動に注意してください。

問い合わせ先

第二管区海上保安本部  
交通部安全対策課長 滝山 豊  
022-363-0111 (内線 2640)

令和3年8月5日  
第二管区海上保安本部

## 夏休み期間中、海で児童1人の死亡 を含む事故が相次いで発生

～ 今後も夏休み期間が続くので管理された海水浴場で遊泳～

夏休み期間<sup>\*1</sup>に入った7月20日から8月4日までの間、東北地方において、児童<sup>\*2</sup>4人の事故が発生し、うち1人が死亡しています。

児童の夏休み期間中の事故者数は、過去10年間（平成23年から令和2年）の平均3.1人（死者数0.7人）を既に上回っています。今後も夏休み期間が続く、更なる事故の増加が危惧されることから、海で楽しく遊ぶために、監視員が常にいる管理された海水浴場における遊泳等の注意を呼び掛けていきます。

### ➤ 海難事例

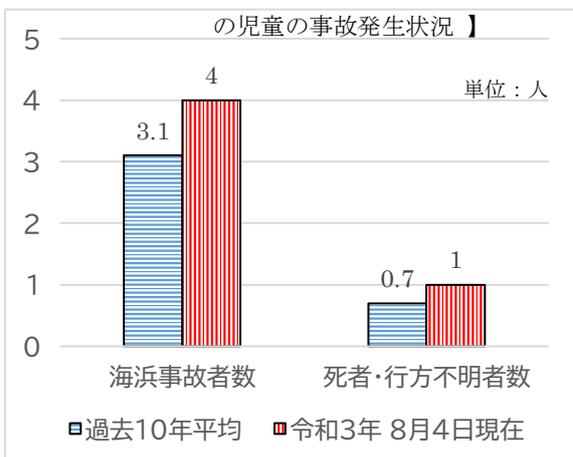
- 7月31日 青森県平内町の海岸で、4歳男子が家族と浮き遊具に乗って遊んでいたところ、沖に流され帰還不能となり、当庁職員及び付近遊泳者に救助されました。
- 8月2日 青森県六ヶ所村高瀬川河口付近で、15歳男子が友人と遊泳中に溺れて死亡しました。
- 8月3日 岩手県浦の浜海水浴場で、9歳女子が家族とビニールボートに乗って遊んでいたところ、沖に流され帰還不能となり、付近海水浴客に救助されました。
- 7月30日 宮城県深沼海水浴場（不開設）で、10歳男子が家族や友人と遊泳中に沖に流され帰還不能となり、付近遊泳者に救助されました。

### ➤ 事故防止対策

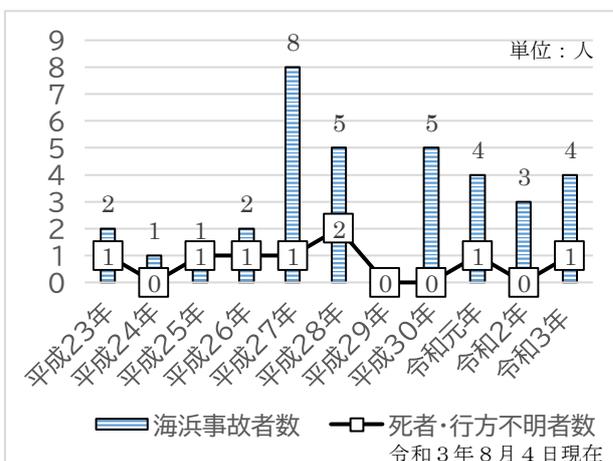
児童の事故は、不開設海水浴場や磯場で多く発生していることから、遊泳する際は、監視員が常にいる管理された海水浴場を利用すること。

また、事故は保護者が児童からほんの一瞬目を離した隙に溺れたり、浮き遊具ごと流されたりしていることから、児童から目を離さず、児童の行動に常に注意すること。

【夏休み期間中(約4週間)と今期2週間の児童の事故発生状況】



【夏休み期間中の児童の事故発生状況】



※1 夏休み期間は、東北地方で一番長い青森県の小学校の期間とし、7月20日から8月25日までとしています。

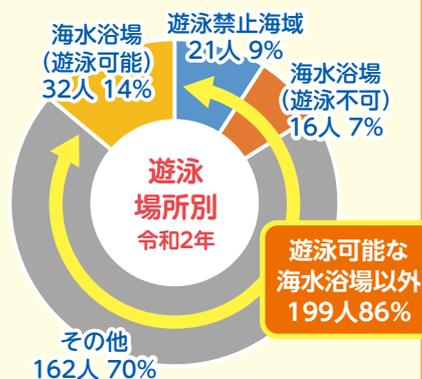
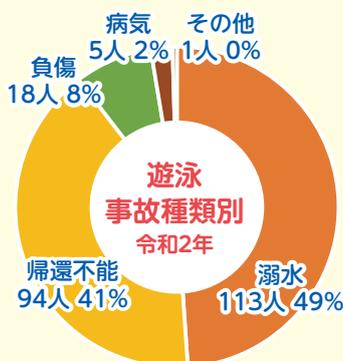
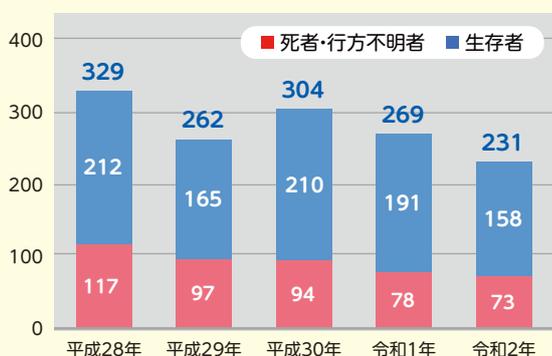
※2 児童とは、本広報上、18歳未満の者としています。

# ▶ 遊泳

海での遊泳は特別な用具もいない身近なウォーターアクティビティの一つであり、多くの方が楽しんでいますが、少なからずリスクが存在し、例年、遊泳中の事故が多く発生しています。



## ● 遊泳中の事故発生状況



- ・ 令和2年における遊泳中の事故者数は231人で、このうち死者・行方不明者数は73人
- ・ 事故内容別では溺水と帰還不能が全体の9割を占める
- ・ 事故の発生場所別では遊泳可能な海水浴場以外における事故が8割以上を占める

## | 遊泳中の事故を防止するための4つのポイント

- 1 ライフセーバーや監視員がいる管理された海水浴場で泳ぎましょう!
- 2 保護者は常に子どもから目を離さない
- 3 お酒を飲んだら泳がない
- 4 風の強い日はフロートを使用しない

## 遊泳に関する安全情報 ▶▶▶



遊泳中の事故を防止するため、危険(リスク)に対する身の守り方を知り、安全に遊泳を楽しみましょう。  
詳しくはウォーターセーフティガイド(遊泳編)をご覧ください。



WSG(遊泳編)

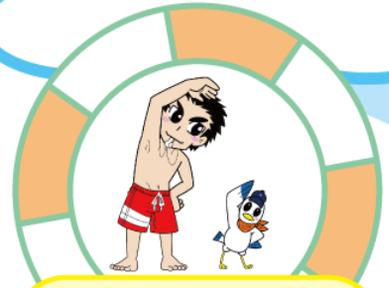
# 海水浴を楽しむために 守ってほしい9つの約束



気象海象に注意!



遊泳区域で泳ごう!



ウォーミングアップ  
しっかり!



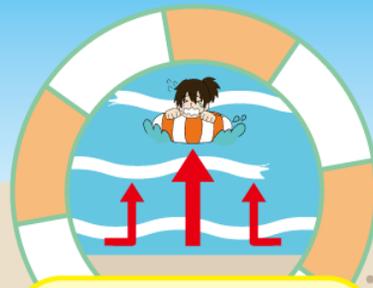
グループで行動しよう!



子供から  
目を離さないで!



休憩はこまめに!



離岸流に気をつけて!



飲酒したら泳がない!



大きな揺れを感じたら  
迷わず逃げる

ウォーターセーフティガイド

検索



## 海での事故は118番へ

第二管区海上保安本部 海の安全推進室